

熊本でサッカーを“プレーする・応援する・支える”すべての人に

KFA NEWS

Kumamoto Football Association News ▶ <https://kumamoto-fa.net/>2022.3
SPRING No.21

熊本県サッカー協会広報紙

2022年3月10日発行 通算第105号

発行者／一般社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会



©H.Wanibe/JBFA



©FIFA via Getty Images

特集

県関係選手が世界の舞台で活躍

2022年の熊本県サッカー界は、県立大津高校の第100回全国高校サッカー選手権での準優勝というビッグニュースで幕を開けました。一方、昨年を振り返ると、ロアッソ熊本の4シーズンぶりのJ2昇格(J3優勝)や、さらに大きな世界の舞台で県関係選手が活躍する姿が、県民に大きな勇気を与えました。今号の特集では、ビーチサッカー日本代表の松尾那緒弥選手と東京2020パラリンピック5人制サッカー日本代表の黒田智成選手にインタビューしました。

コロナ禍がスポーツ界にも多大な影響を与えた2021年。その一方で、1年延期になっていた東京五輪が開催され、各種目での日本勢の活躍が国民に大きな感動を与えるなど、改めてスポーツの力が見直された年でもありました。

そうした中、サッカーの世界的な大会で、県関係の選手が日本代表として日の丸を背負い、目覚ましい活躍を見せました。ビーチサッカーの松尾那緒弥選手(アヴェルタージ熊本所属)は、昨年8月にロシアで行われたワールドカップに出場。見事決勝進出を果たし、過去最高成績となる準優勝に貢献しました。

また、ブラインドサッカーの黒田智成選手(八代市出身)は、9月に行われた東京パラリンピック2020にチームの中心選手として参加。パラリンピック初出場のチームで精神的支柱としての役割を担い、5位入賞を果たしました。

「世界」という舞台に立った2人が目にしたものは？そこで感じた世界との差やこれからの目標などを、たっぷりと語ってもらいました。たとえカテゴリは違っても、同じサッカーファミリーとして高みを目指す彼らの言葉は、きっとコロナ禍に負けずに練習に励んでいる若い世代の胸にも響くはずです。ぜひ一読ください！

用具の貸出を行っています!

アレが足りない...

熊本県サッカー協会では、所属チームやクラブ、都市協会などへ、マイクロバスやサッカーゴール(少年用)、フットサルゴール、自動体外式除細動器(AED)などの用具貸出を行っています。ご希望の方は、県協会事務局(☎096-247-6980)までお問い合わせください。

※一部使用料・協力金をいただきます。
※貸出用具の一部はtoto助成事業にて購入しています。

貸出用具の一例



AED(自動体外式除細動器)



移動用マイクロバス(29人乗り)

貸出用具の詳細などは熊本県サッカー協会ホームページでご確認ください

KFA NEWS

熊本県サッカー協会広報紙

広告協賛募集中

熊本県サッカー協会では、熊本のサッカー情報や活動状況をより多くの皆様にお伝えするために、本協会に所属していただいている会員(チーム)向けに機関紙「KFA NEWS」を発行して参りました。

2015年度から、さらなる紙面の充実と親しまれる広報誌にするために「KFA NEWS」のリニューアルを行い、広告協賛を募集しております。

仕 様：タブロイド版・8ページ 横273mm×縦406mm
発行部数：5,000部／1回
配布対象：会員(約600チーム)、公共施設、スポーツ施設、各種イベント

詳細は熊本県サッカー協会ホームページよりご確認ください。

BLIND SOCCER

特集

県関係選手が世界の舞台で活躍

チャレンジし続けることで
自分もチームも可能性が広がる

INTERVIEW 02



©JBFA

東京2020パラリンピック5人制サッカー日本代表

くろ だ とも なり
黒田 智成さん

Profile

1978年10月9日生まれ。八代市出身。6歳の時に全盲になり、筑波大学大学院在学中の2002年にブラインドサッカーを始める。同年に日本代表に初選出されて以来、アジア、世界のさまざまな大会で活躍。現代表選手の中で最も長い代表歴を持つ。昨夏のパラリンピック東京大会では、5-6決定戦のスペイン戦の決勝ゴールを含め3得点を挙げる活躍。164cm、59kg。

「ブラインドサッカーを始めたきっかけは？」
生後3カ月で左目を摘出し、6歳の時に右目も摘出して全盲になりましたが、わずかに残っていた右目の視力で、当時流っていたアニメ「キャプテン翼」をテレビにかじりついて見ていたのがきっかけで、自宅の庭で

「見えない中でプレーすることに恐怖感はないか？」
私の場合、幼い頃に全盲になったので、恐怖感はあるけど感じませんでした。ただ、実際のサッカーのプレーや動きをほとんど見たことがないので、それの一つ一つ自分の中でイメージして動きに落とし込むまで大変でした。ブラインドサッカーの魅力は、どんなところですか？

最大の魅力は、何と言っても自由であること。もう一つは、競技を通じて多くの人と出会えること。サッカーを通じてそれまで障がいについてあまり関心なかった人たちがとも仲良くなりまして、外国の人たちともたくさん出会うことができました。そうした出会いの架け橋になったのがブラインドサッ

「ボール遊びをするようになりまして。その後、Jリーグが始まりサッカー熱が盛り上がったことで、ますます自分もサッカーをやりたい！」という思いが募っていました。ただ、当時はまだブラインドサッカーがなく、ようやく始めたのは23歳のときでした。最初は、見えない状態でボールを扱うのに苦労しましたが、とにかくピッチの上でボールを追いかけて走り回れる自由さに魅了されたのを覚えています。

「サッカーは1人ではできませんから、仲間集めからスタートしました。他にはチームがないので、最初に集まったメンバーが日本代表です。そうやって経験した人が、それぞれに仲間を集める形で少しずつチームが増えていきました。当時は代表として遠征に行くにしても、費用はすべて自分たちでねん出しないといけないだったので、選手だけでなくコーチやチームスタッフも手弁当で参加していました。そうした人たちの想いや努力がなければ、今のブラインドサッカーはなかったと思います。」

「パラリンピック初出場が母国開催でしたが、特別な思いは？」
5人制サッカーがパラリンピックの正式種目になったのが2004年のアテネ大会から。以来、08年・北京、12年・ロンドン、16年・リオデジャネイロと、あと一歩のところまでアジア予選

「始めた当初は、まだ日本にブラインドサッカーのチームもない時代。どんな苦労がありましたか？」
サッカーは1人ではできませんから、仲間集めからスタートしました。他にはチームがないので、最初に集まったメンバーが日本代表です。そうやって経験した人が、それぞれに仲間を集める形で少しずつチームが増えていきました。当時は代表として遠征に行くにしても、費用はすべて自分たちでねん出しないといけないだったので、選手だけでなくコーチやチームスタッフも手弁当で参加していました。そうした人たちの想いや努力がなければ、今のブラインドサッカーはなかったと思います。」

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ブラインドサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ブラインドサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

©H.Wanibe/JBFA



ブラインドサッカー日本選手権で過去4度のMVPに輝くなど、日本を代表する選手の一人である黒田選手

©H.Wanibe/IBSA PRESS



苦楽を共にしてパラリンピック初出場を果たしたチームメートやスタッフと一緒に記念撮影

BEACH SOCCER

ビーチサッカーの魅力を
もっと多くの人に知ってもらいたい

INTERVIEW 01



ビーチサッカー日本代表

まつ お な お や
松尾 那緒弥さん

Profile

1988年8月18日生まれ。長崎市出身。小学1年生の頃からサッカーを始め、宮崎日大高を経て進学した宮崎産業経営大在学中にビーチサッカーと出会う。卒業後はブラシア山口に5年間在籍したのち、2016年からアヴェルダージ熊本でプレー。山口時代の2012年に初めてビーチサッカー日本代表に選出されて以降、これまでW杯に4回出場。昨年行われた大会では、決勝で開催国のロシアに敗れるが過去最高の準優勝を果たす。167cm、62kg。

「ビーチサッカーを始めた経緯を教えてください。」
大学生の頃、サッカー部のレクリエーション的な活動で大会に参加したのがきっかけです。ドリブルが好きだったので、「砂浜でのサッカーなんて面白くないだろう」と思い込んでいたんですが、実際は思った以上にドリブルできて、「これは面白いな」と感じ、のめり込んでいきました。そこから日本代表への道のりは？

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ

「大会を終えて感じたことは？」
ビーチサッカーを始めた頃は、W杯の決勝でプレーするなど想像もしていませんでした。決勝で敗れたことはもちろん悔しいですが、男子サッカー史上初めてW杯のメダルを持ち帰ることができ、ビーチサッカーを選んだことは間違っていないかなと思います。ただ、大会後はメディアへの露出がもっと増えるだろうと思っていましたが、それほどでもなく、まだまだ注目さ



24歳で初めて日本代表に選ばれてから間もなく10年。「呼んでくれる監督や周囲の支えで続けられている」と話す松尾さん



松尾さんの日本代表での経験がチームに還元されている

SPECIAL
INTERVIEW

特別インタビュー

祝! 県立大津高校
全国高校サッカー選手権 準優勝!!

写真提供：太田黒航一

改めて実感できた
高校スポーツの素晴らしさ

平岡 和徳 総監督

ひらおかかずのり／1965年7月27日、松橋町(現宇城市)生まれ。松橋中から進んだ帝京高(東京)3年時に主将として全国高校選手権大会で優勝。筑波大学卒業後、熊本県教員となり、1993年に大津高校に赴任。2017年より宇城市教育長を務める傍ら、サッカー部総監督として指導にあたる。

「第100回の記念大会で、ご自身が帝京高校のキャプテンだった時以来となる、国立競技場での決勝戦でした。平岡 幾度となくベスト4の壁に屈してきましたので、準々決勝で前橋育英に勝った直後は、「やつとここまで来れたな」という安堵感が強くありました。少し時間をおいて、100回大会、新国立競技場での準決勝戦ということで、

自分の現役時代との重なりもあり、感慨深く大きな達成感を実感しました。準決勝は、夏のインターハイで苦杯をなめた静岡学園が関東第一に敗れ、千載一遇のチャンスと氣を引き締めましたが、相手チームからコロナ陽性者が確認されたことで、不戦勝という形で決勝進出となりました。この結果、チームが消化不良を起こしたのは事実です。

「休養日が設けられるなど大会日程にも余裕が生まれましたが、一方で勝ち進むほど滞在費用の負担が大きくなる面もあります。」

平岡 コロナ禍で開催された大会だっただけに、運営上、全てがパーフェクトということとはあり得ません。不測の事態を考えた上で工夫され危機管理を徹底したレギュレーションは実効性が高く、日程についてもブレイヤーズファーストに配慮されていたと感じます。滞在費用等の予算関係については、JFAや高体連、大会スポーツサー等が熟議を繰り返して判断すべきものであり、出場校はそこに従うのが当然です。1年間を通したリーグ戦も普及した中、歴史を重ねてきた大会そのものの位置付けの変化や、今後の課題等について感じています。

平岡 新国立競技場での決勝戦は、4万人を超える大観衆の中で行われ、やはり「スポーツは社会を動かすエンジン」

であると感じましたし、コロナ禍の中、高校スポーツの素晴らしさを改めて実感したところでした。私たちが「今」を変えなければ、子どもたちの「未来」は変わりません。今後も、実行委員会や関係機関、そしてサポートする大人たちの工夫や努力によって、こういった素晴らしい舞台を構築していくってほしいと思います。最後に、大津高校の全国準優勝は県のサッカー界全体にとって大きな刺激になったと思います。県内の指導者や選手たちに向けて。

長年の積み上げの成果が
今回の準優勝につながった

「大会全体を振り返っていただけです。山城 今回、自分たちの活動がこれほど多くの皆さんに応援されていること、高校選手権という大会の大きさを実感しました。私が在学中に出場した時も、コーチとして関わっていた過去2回の出場時も、選手権が注目される大会であることは理解していました。しかし今回、ベスト8進出後や、その準々決勝で前橋育英高校に勝った後に送られてきたメッセージの数々、熊本日日新聞に寄せていただいた応援メッセージ、高校公式ホームページへのアクセスの伸びなどを通して、「ここまで多くの人に見ていただいているのか」と、実感しましたね。」

「これまでの壁(ベスト8)を破ってベスト4進出。準決勝は関東第一高校の辞退により試合ができなかったものの、

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

山城監督&平岡総監督に聞く

昨年12月28日から首都圏で行われた「第100回全国高等学校サッカー選手権大会」に、熊本県代表として3年ぶりに出場した県立大津高校。これまでの最高成績だったベスト8の壁を突破し、県勢として67大会ぶりとなるベスト4に進出。準決勝の対戦相手が辞退したことにより進んだ決勝では、青森山田に敗れて初の全国制覇こそ逃したが、準優勝という結果を残した。就任2年目の山城朋大監督と、同校教諭時代から長年指導にあたっている平岡和徳総監督に、大会を振り返ってもらった。



山城 朋大 監督

やましろともひろ／1989年4月11日、熊本市生まれ。熊本市立錦ヶ丘中学校から大津高校へ進み、卒業後は福岡教育大学に進学。同大学院を経て、2014年より6年間、大津高校サッカー部のヘッドコーチを務める。2020年4月から熊本県教員となり、保健体育教諭として同校に赴任、監督となる。

「大会全体を振り返っていただけです。山城 今回、自分たちの活動がこれほど多くの皆さんに応援されていること、高校選手権という大会の大きさを実感しました。私が在学中に出場した時も、コーチとして関わっていた過去2回の出場時も、選手権が注目される大会であることは理解していました。しかし今回、ベスト8進出後や、その準々決勝で前橋育英高校に勝った後に送られてきたメッセージの数々、熊本日日新聞に寄せていただいた応援メッセージ、高校公式ホームページへのアクセスの伸びなどを通して、「ここまで多くの人に見ていただいているのか」と、実感しましたね。」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」

「熊本をリードする存在として積み上げを継続していく」



スポーツの多様化で感じるサッカーの危機 次代を担う若手指導者の育成も急務

人口比では、全国でも上位のJリーガー輩出数を誇る熊本県。その要因の一つに、キッズから4種、3種まで、育成年代で取り組んできた地道な指導があります。今回は、県内で長く育成年代の指導に携わってきたお2人に、自身の少年時代と現代の指導の違いや熊本県ならではの傾向、さらに今後の育成年代の指導における課題について話をうかがいました。

―まず、ご自身の少年時代を振り返っていただいて、現在の育成年代の指導との違いなどをお聞かせください。

光永 私が生きた頃は、まだJリーグも始まっていませんでしたし、クラブチームもなく、学校の部活動が中心でした。通っていた小学校は県内でも上位で、九州大会などにも出ていました。が、学校の先生ではなく地元企業が勤めている社会人の方がコーチとして指導に来てくれていました。練習も毎日あるし、土日は練習試合で、部活動にしていた熱量がすごかったのを覚えていますね。練習もスパルタでできなかったらコーチの家に呼ばれるくらいでしたから(笑)。

下川 私が生まれたのは岡山県玉野市で、その後、父の仕事の関係で千葉県習志野市を経て、茨城県に引っ越しました。小学5年生の時にJリーグが始まり、当時所属していたチームがジュニアユースを立ち上げるようになって、セレクションを受けて1期生として入団しました。セレクションをするようなクラブチームはレベルも高かったのですが、当時はまだ中体連のチームの方に力がありました。ただ、学校によってレベルが違うことは感じていました。

―それは指導の質の違いということになるのかもしれませんが、指導そのものは現在と当時で違いがありますか？

下川 私が教わった指導者の皆さんは、日本サッカー協会がキッズ年代で今も大事にしていることを、当時から先駆的に指導してくれていたと思います。クラブの代表が、日本サッカー協会の指導者ライセンスの仕組みづくりに関わった方だったので、私自身がライセンス取得の際に学んだのと同じようなことをしてくれていました。

光永 指導者ライセンス制度ができて、ライセンスを持つ人は増えたと思います。一方で、(指導者の)レベルの格差が広がったように感じます。資格取得後も学び続ける指導者と、資格を取って終わりという指導者では、教わる子どもたちの質にも差が生じ、その差はどんどん開いていくんです。高体連とジュニアユースにも街クラブとJアカデミーの差が出てきているのではないのでしょうか。指導の質はもちろん、教えている内容も違います。指導の違いという意味では、JクラブのアカデミーとJFAアカデミーでもそれを感じることがあります。

下川 私たちが子どもだった頃との大きな違いの一つに、メディアを通してサッカーを見る環境が整っていることが挙げられると思います。私たちが子ども頃はJリーグの映像がほとんどでしたが今は海外サッカーを見られる機会が増え、子ども達に好きな選手を聞くと、挙がってくるのは海外の選手の名前ばかりです。もう一つは、クラブ数が増えてサッカーをする環境を選べるようになったことですね。

光永 今はチーム戦術を教えるクラブも増えていきます。ボードを使いながら、ピッチ全体を俯瞰して「面」で見えていますし、自チームの分析のために、選手1人1人にGPSを装着させるところも出てきています。

下川 当時の指導者も情熱を持って接してくれていたと思いますが、今ほど難しいことは教えていなかったかもしれません。シンプルに楽しませる部分は変わらないけれど、よりいいサッカーをしようという、チームとして目指すレベルが上がっていると感じます。

―それによつて子ども達のレベルは上がりますね。他に変化を感じるのはありますか？

光永 下川さんのいるロアッソ熊本のように、「Jクラブのアカデミーはサッカーに打ち込める環境がありますが、街クラブは運営を続けていくことも大切。チームとして結果を出すことだけでなく、人間性の育成も求められるようになってきています。下川 確かに、我々はサッカーに打ち込みやすい環境で指導さ

「JFAアカデミーとロアッソ熊本が、県全体のレベルを引き上げてくれた」(光永)



みつなが せいじ
光永 誠司さん
1974年生まれ。2000年に「エスベランサ熊本サッカースクール」を立ち上げ、2003年にクラブチーム化。同年、NPO法人熊本県キッズサッカー協議会の運営委員となり、以来、育成年代の指導にあたるとともに、フットサルやビーチサッカーの普及にも務める。2012年にはエスベランサ熊本をNPO法人化し、総合型スポーツクラブへ移行。これまでに2人のJリーガーを輩出している。

せてもらえていると思います。トップチームに繋いでいくという目標もあるので、サッカーで成果を上げることも大切です。同時に、多くの人に応援してもらえるような選手になれるよう人間性を向上させ、熊本の子たちのお手本になるような選手を育てなければいけないと思います。

―熊本県ならではの傾向や、取り組んできたことの成果についてどう思われますか？

光永 JFAアカデミー熊本宇城ができ、県内の指導者に向けて情報を発信してくれたことで、指導者にとって勉強になることも多く、熊本県にとつてとてもプラスになっていると感じます。以前、ロアッソ熊本のアカデミーダイレクターだった永尾健次さんも、「Jクラブのアカデミーのセミナーがあるから一緒に行きましょう」と、クラブ連盟の指導者に学ぶ機会を作ってくれたことがありました。JFAアカデミー熊本宇城やロアッソ熊本が県全体を引っ張ってきて、ボールを繋ぐスタイルの浸透など、九州の中でも先端を進んでいるのではないかと思いますし、それが高校サッカーにも繋がっていると思いますね。

下川 私が最初に熊本に来たのは、ちょうどロアッソ熊本ができた2005年で、2014年からは宮崎県の日章学園高校、2018年からツエーゲン金沢に移って、育成年代に関わってきました。その経験から、(熊本は)どこと比べても地域のキッズ年代の活動が非常に盛んだと感じます。キッズ年代の試合数やトレセン活動も充実していますし、指導者も圧倒的に多い。2005年から14年までの間、熊本県の「キッズエリートプログラム」でチーフコーチを担当しましたが、松田天馬(京都)や木戸皓貴(山形)、荒木遼太郎(鹿島)、ロアッソ熊本の樋口叶といった、現在Jリーグで活躍している選手たちがいました。韓国に遠征に行った際には、向この監督から「この選手達を(韓国に)置いて行け」と言われたほど素晴らしいパフォーマンスをしていました。そういう、キッズ年代の草の根を広げる活動をしていたのが光永さんでした。

光永 巡回指導や交流会、フェスティバルをやりました。ただ最近では、キッズプロジェクトでフェスティバルなどを開催しても、参加者が50人くらいしかないこともあります。保護者の目線が、チームスポーツではなく個人競技を向いていて、バドミントンや陸上競技などを選ぶ子が増えていると感じます。昔はキッズフェスティバルに何百人と集まっていたんですが、今は間口を広げてもサッカーが選ばれておらず、育成などと言っている場合ではなく、なってきた5年後でさえ、「サッカー界、すごく危険だな」と感じ

―では、これからの課題としては、スポーツを始めようとする子どもにサッカーを選んでもらうことが必要になってきますか？

光永 今後、少子化が進むにつれて存続できなくなるクラブが出てくると思います。クラブの統合再編の時期にきていて、指導者では食べていけない」と辞めざるを得ない人も出てくるでしょう。育成年代の指導者や街クラブを運営している人たちは、そういったことも頭に入れておかなければいけないと思いますし、子どもにとつてどんなメリットがあるクラブ運営をしていくのかを考えなければいけません。今はテレビを見る子どもが減っていますよね。多種多様にある娯楽や趣味の中から、いいもの、好きなものを選ぶ時代になっているのは、サッカークラブも同じ。保護者は、指導者が勉強熱心なところに我が子を送り出しています。

下川 大事なのは選手に愛情を持って指導することを継続することですが、私たちは同時に、若い指導者の育成にも携わっていることが必要なのではないかと思っています。若いコーチたちの中には、サッカーの知識やスキルはありますが、指導力を持っている人もいますが、指導においては知識や知恵だけでなく、いろんなノウハウが必要です。そういうことを伝えながら、若手を引っ張っていく存在が重要になってくるのではないのでしょうか。



しもかわ まさお
下川 正生さん
1981年、岡山県玉野市生まれ。帝京高校(東京都)出身。2005年、「クーバー・コーチング・ジャパン」のスタッフとして熊本に赴任し、熊本県サッカー協会が立ち上げた「キッズエリートプログラム」のチーフコーチを務める。その後、日章学園高校(宮崎県)、ツエーゲン金沢アカデミーで育成年代の指導に携わり、2020年からロアッソ熊本ジュニアユースコーチに。今年からジュニア監督兼普及事業統括となる。

「海外サッカーを見る機会が増え、サッカーをする環境も選べるようになった」(下川)

熊本県 フットボールセンター (仮称)

INFORMATION —インフォメーション—

2022年8月の完成を目指す「熊本県フットボールセンター(仮称)」(嘉島町)の建設が進んでいます。KFA NEWSでは、同センターに関する情報やお知らせを、毎号お伝えしていきます。県サッカーの強化育成の新拠点となるだけでなく、地域の活性化やスポーツ文化の発信拠点としても注目を集める「熊本県フットボールセンター(仮称)」を、サッカーファミリーの皆さんと「ともに作りましょう!」。

今年8月の開業に向け、Instagramで建設予定地の現場写真やイベント情報を発信中!



上棟式を行いました

1月22日に、「熊本県フットボールセンター(仮称)」の上棟式を行いました。この日は、当協会の前川隆道会長をはじめ、センターの運営会社(株)熊本フットボールセンター・松下涼太社長、設計を担当した熊本大学・田中智之教授、併設される企業主導型保育園「こすもす保育園」を運営する社会福祉法人くすの実福社会・津留貴裕理事長ら関係者が出席。玉ぐしを捧げ、工事の無事を祈りました。建物の工事は、今年4月に開園する「こすもす保育園」の園舎部分が先行して進み、さらにその他の部分(カフェ、多目的スペース等)も、8月の完成に向けて着々と形を表していきます。

公園利活用の意見募るワークショップを開催

建設が進む「熊本県フットボールセンター(仮称)」内には、約5,000㎡の芝生広場があり、幅広い世代の方々に「まちの余白」という位置づけで思い思いに活用してもらう計画です。そこで当協会では、その公園(芝生広場)をどう活用するかを地域住民と一緒に考えるワークショップを随時開催しています。昨年11月23日・24日には、嘉島町町民会館でキックオフワークショップを開催。センター建設プロジェクトの概要説明に続き、各地の公園・広場の利活用の事例紹介を行いました。

ワークショップでは、「芝生広場で利用・活動したいこと」というテーマを設け、参加者が数人ずつのグループに分かれ、熊本県フットボールセンター内の芝生広場を使って「いつ・誰と・なにをしたいか」を考えてもらいました。当協会では、今後もワークショップを開催していく予定です。

興味のある方は、ぜひ協会ホームページ

(<https://kumamoto-fa.net/>) をチェックしてください。



昨年11月23・24日に行ったワークショップの様子。多くの方が参加し、公園利活用について意見を交わしました



企業主導型保育園「こすもす保育園」入園説明会



今年4月に熊本県フットボールセンター(仮称)内に開設する企業主導型保育園「こすもす保育園」。現在、園舎の工事も大詰めを迎え、開園に向けた準備が着々と進んでいます。「多様な実体験環境の提供によるやさしい心、強い心、たくましい体、自ら生きる力の育成」を保育目標に掲げ、「ねばり強いこども」「すべてのものに思いやりをもてるこども」「食を大切にすることも」を育てることを目指しています。同園では、下記の日時で入園説明会を予定していますので、興味のある方はぜひお問い合わせください。

第4回 入園説明会

日時/3月13日(日) 14:00~15:00
会場/嘉島町総合運動公園会議室
(上益城郡嘉島町下六嘉1564)
定員/20名

第5回 入園説明会

日時/3月27日(日) 14:00~15:00
会場/嘉島町民会館2階会議室
(上益城郡嘉島町上島545)
定員/30名

●お問い合わせ

くすの実福社会事務局 ☎096-338-0371

入園説明会に関する詳しい情報はコチラをチェックしてください
<https://kumamoto-fa.net/footballcenter/>



こすもす保育園InstagramQR

寄付及び投資の 途中報告とお願い

おかげさまで、寄付及び投資の呼び掛けに対して県内外から多くのご賛同をいただき、金額も徐々に増えています。これも、「県サッカー界の新拠点」「地域活性化やスポーツ文化の発信拠点」という趣旨へのご理解の賜物と感謝申し上げます。

しかし、目標額到達にはまだまだ熊本のサッカーファミリーの皆様のご協力が欠かせません。県サッカーの強化育成の拠点は、皆さんお一人お一人が作り上げるものです! ぜひさらなるご支援をお願い致します。

寄付及び投資額(2月末現在)

- 寄 付
17,617,000円(225の団体及び個人)/目標額30,000,000円
- 投 資
A号) 4,740,000円(40の団体及び個人)/目標額21,000,000円
B号) 24,000,000円(33の団体及び個人)/目標額40,000,000円

寄付の方法

1)クラウドファンディングプラットフォームを利用する

<https://www.glocal-cf.com/>

または右記のQRコードよりお申し込みいただけます。



2)ゆうちょ銀行を利用する

お近くの郵便局で、窓口設置してある「払込取扱票」「郵便振替払金領込請求書兼受領証」をご利用の上、お振込みいただけます。

- ゆうちょ銀行振込 01790-4-152698
 - 他行への振込 一七九店 当座 0152698
- 口座名義/一般社団法人熊本県サッカー協会
カナ/シャ) クマモトケンサッカーキョウカイ

1口あたりの寄付金額

- 協会登録チーム
.....10,000円/1口(芳名板掲載: 30,000円以上)
- 協会登録選手、指導者、審判員
.....1,000円/1口(芳名板掲載: 10,000円以上)
- 一般(企業)
.....10,000円/1口(芳名板掲載: 50,000円以上)
- 一般(個人)
.....1,000円/1口(芳名板掲載: 20,000円以上)

※()内の金額以上のご寄付をいただいた場合、センター内に設置予定のネームプレート(芳名板)に、お名前(またはチーム名、企業名)の掲載を致します。お振込みの際に掲載希望のネーム(アルファベット20文字以内)を記載してください[寄付方法1の場合は「備考欄」、寄付方法2の場合は「通信欄」]。

投資に関する情報と方法について

社会的投資プラットフォーム「エントライ」(下記URL)にて、熊本フットボールセンター応援ファンドの詳細と投資の方法についてご確認いただけます。

<https://www.en-try.jp/feature/kumamoto-football/>





2022明治安田生命 J2リーグ／ロアッソ熊本ホームゲーム日程			
節	日 程	対戦相手	試合会場
第5節	3月21日(月・祝) 13:00開始	 V・ファーレン長崎	えがお健康スタジアム
第8節	4月 3日(日) 13:00開始	 アルビレックス新潟	えがお健康スタジアム
第11節	4月22日(金) 19:00開始	 ファジアーノ岡山	えがお健康スタジアム
第12節	4月27日(水) 19:00開始	 ベガルタ仙台	えがお健康スタジアム
第15節	5月 8日(日) 13:00開始	 FC琉球	えがお健康スタジアム

■試合日程・チケットに関する詳しい情報はロアッソ熊本公式HPをチェック！

<https://roasso-k.com/>



Result

各カテゴリー大会結果報告

県サッカー協会の各カテゴリーの試合結果をお知らせします。

県内大会・県予選

〈1種 学生〉

KFA 2021年度大杉杯争奪熊本県学生リーグ大会

日程：2021/7/25～12/5
会場：東海大学熊本キャンパス他
結果：Aグループ優勝／東海大学熊本
Bグループ優勝／熊本県立大学



〈2 種〉

令和3年度県下高校サッカー大会(男子)

日程：2022/1/8～29
会場：熊本県民総合運動公園陸上競技場
(えがお健康スタジアム)他
結果：優 勝／大津高校
準優勝／ルーテル学院高校
第3位／熊本学園大付属高校

令和3年度県下高校サッカー大会(女子)

日程：2022/1/8～29
会場：熊本県民総合運動公園陸上競技場
(えがお健康スタジアム)他
結果：優 勝／秀岳館高校
準優勝／熊本農業高校
第3位／球磨中央高校

〈女 子〉

KFA 第40回熊本県女子サッカー選手権大会 兼 皇后杯JFA 第43回全日本女子サッカー 選手権大会熊本県大会

日程：2021/8/17～21
会場：熊本甲佐運動公園サッカー場
結果：優 勝／熊本ユナイテッドSCフローラ
準優勝／八代フューチャーズレディース

KFA 第10回熊本県U-18女子サッカー選手権大会 兼 KYFA 第25回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：2021/8/22
会場：熊本甲佐運動公園サッカー場
結果：優 勝／八代フューチャーズレディース
準優勝／熊本ユナイテッドSCフローラ
第3位／MELSA熊本FCアマール

KFA 第26回熊本県U-15女子サッカー選手権大会 兼 JFA 第26回全日本U-15女子サッカー選手権 大会熊本県大会

日程：2021/9/18～19
会場：熊本甲佐運動公園サッカー場
結果：優 勝／熊本ユナイテッドSC
準優勝／Fragrant熊本
第3位／益城ルネサンス熊本FC

KFA 第31回熊本県U-12女子サッカー選手権大会 兼 ガールズエイト(U-12)サッカーフェスティバル 第8回なでしこMIYAZAKIカップ熊本県大会

日程：2021/10/9～10
会場：熊本甲佐運動公園サッカー場
結果：優 勝／ピアンカスにしはら
準優勝／FCK MARRY GOLD KUMAMOTO U-12
第3位／MELSA熊本FCボニータ

KFA 第47回熊日学童オリンピックサッカー競技 (女子の部)

日程：2021/11/6、13
会場：熊本甲佐運動公園サッカー場
結果：優 勝／MELSA熊本FCボニータ
準優勝／ピアンカスにしはら
第3位／熊本ユナイテッドSCエーマ

〈フットサル〉

JFA 第27回全日本U-15フットサル選手権 熊本県大会

日程：2021/9/4～5
会場：フットボールパーク御代志
結果：優 勝／FC VIVO
準優勝／バレイアサッカークラブU-15

JFA 第27回全日本フットサル選手権熊本県大会

日程：[予選] 2021/10/3、[決勝] 2021/10/10
会場：大矢野総合体育館
結果：優 勝／エンフレンテ熊本フットサルクラブ
準優勝／OHANA

九州大会

〈1種 学生〉

KYFA 第28回九州高等専門学校(U-19) サッカー大会

日程：2021/12/11～12
会場：グリーンピア八女(福岡)
結果：優 勝／久留米高専(福岡)
(熊本高専熊本キャンパス：第4位、
熊本高専八代キャンパス：第7位)

2021年度 九州大学サッカーリーグ代替大会

日程：2021/10/9～12/12
会場：西都市清水台総合公園多目的広場(宮崎)他
結果：1部優勝／鹿屋体育大学
(東海大学熊本：第7位)
2部優勝／熊本学園大学
(熊本大学：第11位)

第36回九州各県大学サッカーリーグ決勝大会

日程：2021/11/26～28
会場：吹上浜海浜公園人工芝サッカー場(鹿児島)
結果：優 勝／鹿児島大学
(熊本県立大学：1回戦敗退、崇城大学：1回戦敗退)

大会結果、8ページへ続きます➡

▶大会結果、7ページからの続きです

〈女 子〉

KYFA 第39回九州女子サッカー選手権大会

日程：2021/9/11～13

会場：無観客試合のため非公開

結果：優 勝／東海大学付属福岡高校(福岡)
(熊本ユナイテッドSCフローラ：1回戦敗退、
東海大学付属熊本星翔高校：1回戦敗退、
熊本ルネサンスフットボールクラブ：1回戦敗退、
秀岳館高等学校：1回戦敗退)

KYFA 第25回九州U-18女子サッカー選手権大会

日程：2021/10/23～24

会場：吹上浜海浜公園人工芝サッカー場(鹿児島)

結果：第1代表／ANCLASノーヴァ(福岡)
第2代表／大分トリニータレディース(大分)
(八代フューチャーズレディース：1回戦敗退)

KYFA 第26回九州U-15女子サッカー選手権大会

日程：2021/10/30～11/1

会場：島原市平成町人工芝グラウンド他(長崎)

結果：優 勝／casa okinawa ale(沖縄)
(Fragrant 熊本：準決勝敗退、
熊本ユナイテッドSCフローラ：2回戦敗退)

KYFA 第32回九州高等学校女子サッカー選手権大会
兼 第30回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
九州地域予選

日程：2021/11/6～9

会場：中津市永添天然芝グラウンド他(大分)

結果：優 勝／神村学園高等部(鹿児島)
(秀岳館高校：2回戦敗退、
東海大学付属熊本星翔高校：1回戦敗退)

JFA U-12ガールズ2021九州・第8回なでしこ
MIYAZAKIカップ

日程：2021/11/27～28

会場：宮崎県総合運動公園サッカー・ラグビー場・
補助球技場

結果：優 勝／アイラシカー福岡
(ピアンカスにしはら：2位グループ3位、
MELSA熊本FCボニータ：3位グループ4位)

〈フットサル〉

KYFA 第12回九州U-15女子フットサル選手権大会

日程：2021/11/13～14

会場：横川体育館(鹿児島)

結果：優 勝／日置シーガルズFC
準優勝／casa okinawa ale
(Fragrant熊本：準決勝敗退)

KYFA 第27回九州U-15フットサル選手権大会

日程：2021/11/20～21

会場：宮崎県佐土原体育館

結果：Aパート優勝／セントラルFC宮崎
Bパート優勝／セレソン都城FC(宮崎)
(FC Vivo／代表決定戦敗退)

KYFA 第18回九州女子フットサル選手権大会

日程：2021/12/18～19

会場：佐世保市東部スポーツ広場体育館(長崎)

結果：優 勝／ViVolugar Futsal Club(長崎)
準優勝／ALEGRE CAMINHO(佐賀)
(Primeiro熊本：予選敗退)

KYFA 第7回九州ジュニアフットサル大会

日程：2021/12/25～26

会場：アクション福岡

結果：優 勝／国見FCジュニア(長崎)
(アッズリーノ熊本：予選敗退、
バレイアサッカークラブ：予選敗退)

JFA 第27回全日本フットサル選手権九州大会

日程：2022/1/29～30

会場：久留米アリーナ、うきはアリーナ(福岡)

結果：第1代表優勝／CRESCER FUTSAL CLUB(福岡)
第2代表優勝／R'D／DINO'S(福岡)
(EGOISTA：2回戦敗退、
FUKUEI JAPAN：2回戦敗退、
エンフレンテ熊本フットサルクラブ：1回戦敗退)



Vol.15

アスリートのための「トレーニング食(めし)」、レシピ

このコーナーでは、サッカープレーヤーをはじめ、アスリートのパフォーマンス向上に欠かせない栄養たっぷりのレシピを紹介します。ぜひお試しください！



冬場から春先にかけてのアスリート食は、トレーニングの疲労回復はもちろん、季節柄、風邪やインフルエンザ、その他さまざまな感染症予防に役立つ、体を中からしっかりと温めてくれる食材＆メニューを積極的に食事に取り入れて、免疫力アップに努めましょう！

渡邊 まみさん／食育料理研究家、アスリートフードマイスター

熊本を拠点に大分でも料理教室の講師として活躍する傍ら、熊本県民テレビ「てれびタ」にも出演中。現在、大学生の長男はサッカーをしているため、アスリートの食事にも精通。Instagram (mamipan358) で情報発信中。

recipe
1

もち米と雑穀で簡単サムゲタン



骨付き鶏肉は
免疫力アップにとても効果的です。
さらに、クコの実は滋養強壮、
老化防止効果も期待できるスーパーフード！
材料に山芋や長芋、ナツメ、白きくらげ、
マツの実などを加えると、より本格的な
サムゲタンになりますよ。

【作り方】

- ① もち米と雑穀を軽く洗って30分ほど水に浸す。
- ② 長ねぎはぶつ切り、ニンニクは潰し、ショウガは薄切りにする。
- ③ 材料を土鍋に入れて火にかけ、中火で沸騰し始めたらフタをし、弱火でさらに15～20分煮込む。
- ④ 塩こうじ、コショウで味を調え、クコの実を入れて出来上がり！

■材 料(2人分)

鶏手羽元……………	4本	雑穀……………	大さじ1・1/2
長ねぎ……………	1/2本	クコの実……………	大さじ1/2
ショウガ……………	1片	塩こうじ……………	大さじ1/2
水……………	250ml	純米酒……………	大さじ1
もち米……………	大さじ1・1/2	ニンニク……………	1片

recipe
2

さつまいものガレット



塩こうじパウダーが
ない場合には、
塩こうじやゲランドの塩で
代用してもOK。
さつまいもとかぼちゃは、
出来るだけ細く切った方が
美味しく仕上がります！

【作り方】

- ① さつまいも、かぼちゃを斜めに細く切る。
- ② ボウルに切ったさつまいもとかぼちゃを入れ、片栗粉、塩こうじパウダーをまぶして混ぜる。
- ③ フライパンにバターと②を入れ、真ん中にチーズを乗せてフタをして中火で10分ほど焼く。
- ④ 裏面に焼き目が付いてきたらひっくり返し、さらに7分ほど焼いたら完成！

■材 料(2人分)

さつまいも(出来れば「紅はるか」を使う)……	1本
かぼちゃ……………	1/8個
バター……………	10g
溶けるチーズ……………	50g
片栗粉……………	大さじ2～3
塩こうじパウダー……………	大さじ1/2

「KFA NEWS」は、
ここで手に入れよう！

「KFA NEWS」は、サッカー協会員以外の一般の方でも手にいれることができます。事務局にお越しいただくか、下記URLからダウンロードできます。

<http://kumamoto-fa.net/about/news/>

右記QRコードからも
アクセスできます➡



編／集／後／記

感染予防対策に取り組みながら、各カテゴリーの大会やトレセン、イベントなどが実施されるようになり、スポーツ界も徐々に熱気を取り戻してきているように感じます。県内でも、昨年は中止された大会が実施されており、加えて、大会が原因での感染増加も発生していないということで、安心と同時に嬉しく思います。今後の感染動向も注目されますが、育成年代の選手たちが思い切りプレーできる環境になることを祈りながら、サッカーファミリー全体をこれからも応援していきたいです。(沢田)

釣り好きの私は、若い頃「俺は人間の漁師になる」と意気込んでいました。しかし、それから40年ほど経った今、「人間の漁師になる」ということは、人材や会員獲得のようなものではなく、自ら社会の中に飛び込んでより多くの人と出会い、その人の喜びや希望、また苦しみや悲しみを知り、共に生きることなんだと思えるようになりました。子どもたちには、「人にやさしく、目標を立てて頑張ろう」と言っていますが、「人間の漁師」も「優しさ」も、その根っこには「心の強さ」がなければならないと切に思います。(山川)